

Feeling excited

“Dance with Heart”
We are burning with enthusiasm
in creating national art for the new era.
The Kikunokai Dance Troupe
Representative : Satoshi Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会
〒161-0031
東京都新宿区西落合 2-21-23
03-5983-6001 (代表)
菊の会京都八瀬研修所
〒601-1254
京都市左京区八瀬野瀬町 10
075-712-8701 (代表)
http://www.kikunokai.co.jp

Dancing from the heart



人々との身近な触れ合いが制限される時代を経験し、今まで自分達でも気が付かなかった古来より受け継がれてきた『思い、願い、祈り』が込められてきた『日本のおどり』が果たせる役割

その理想を胸に菊の会一同皆様のご期待にお応え出来ますようより一層の精進を致して参ります。どうぞ今後共未永く、変わらぬご指導ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年より新たな歴史の一步を踏み出し、菊の会は再びの新出発をさせて頂きます。二年に及ぶ活動停止を余儀なくされたコロナ禍では皆様からのこれまで以上のご厚誼に言葉に尽くせぬ感謝の思いを深く致しました。ここに改めて感謝御礼を申し上げます。本当に有難うございました。

この心と身体を元気に繋げる事ができれば望外の幸せでございます。

昨年より新たな歴史の一步を踏み出し、菊の会は再びの新出発をさせて頂きます。二年に及ぶ活動停止を余儀なくされたコロナ禍では皆様からのこれまで以上のご厚誼に言葉に尽くせぬ感謝の思いを深く致しました。ここに改めて感謝御礼を申し上げます。本当に有難うございました。

この心と身体を元気に繋げる事ができれば望外の幸せでございます。

創立から半世紀を越え、菊の会新時代へ



舞踊集団 菊の会
代表 畑 聡

聡



文化庁事業 文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演事業(学校公演)



生徒さんとの集合写真の様子



学校公演の様子

「文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業(文化庁)として、舞踊集団「菊の会」の皆さんに本校でご公演いただきまして、心より感謝申し上げます。体育館いっぱい心地よい笛や太鼓の軽快なリズムが響き渡り、手拍子をしたり身を乗り出して鑑賞したりと、それぞれの子供たちが楽しいひとときを過ごさせていただきました。踊り手の方が子どもたちへ近づいて

「文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演等の和楽器紹介の際には、知っている曲を演奏してくださるなどの様々な工夫により、伝統民俗芸能の世界を身近なものに感じさせていたくださるとも、子供たちにとって、いつまでも心に残る貴重な体験であったと感じております。都市化や核家族化等が進む現代社会においては、本校のような地方の学校でも、普段あまり伝統民俗芸能に接することのない子供たちですが、今回の公演は「見て・聴いて」にとどまらず、「一緒に踊る」という貴重な体験までさせていただき、日本の伝統民俗芸能の美しさや素晴らしさ、また、力強さや迫力を感動とともに直接肌で感じとることができました。



学校公演の様子



『八木節』

「八木節」を踊った三年生からは、「本番の踊りで

は、振り付けが揃ってうれしかったです」、「高年齢の方や町長さん、北小のみんなに八木節を見せられてとても楽しかったです」、「踊った私たちがもちろん、見ているみんなも楽しい一日だったと思います」等の感想がありました。今回の巡回公演事業での「生の芸術(本物)にふれる」という貴重な体験は、子供たちにとって大きな財産になったと感じております。今後も、日本各地の子どもたちや多くの人々に、本校と同じような感動を与えていただきますようお願いするとともに、皆様のますますのご活躍を心より応援いたしております。本当にありがとうございます。

菊の会の活動を応援する 友の会へのご入会・ご継続のご案内

【特別支援金】1口1,000円(1口以上)
1口以上であれば金額は自由にお決め頂き
いつでも受け付けております。

【年会費】
シルバー会員...1万円
ゴールド会員...2万円~
プラチナ会員...5万円~
(個人)
(法人)
ゴールド会員...5万円
プラチナ会員...10万円~

【振込先】
三菱UFJ銀行 新宿通支店 普通預金 №2969751
郵便振替口座 00120-9-72751 舞踊集団菊の会

舞踊集団 菊の会 公演
躍れ 日本心
一 弥生に舞う一
2023/3/19(日) 14:30 開演予定
四谷区民ホール

舞踊集団 菊の会 事務局 〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23 TEL 03-5983-6001 / FAX 03-5983-6002

菊の会 e-mail info@kikunokai.co.jp



Sr. Andrés Miyashiro
Presidente de la Asociación Peruano

南半球ペルーよりお祝いのメッセージが届きました!

ペルー日系人協会 (APJ)
会長 アンドレス・ミヤシロ・トカシキ

皆様こんにちは。昨年、舞踊集団菊の会が創立五十周年を迎えられましたこと、ペルー日系人協会を代表して心よりお祝い申し上げます。七年前の二〇一五年に初めてご訪問いただいた以来、日本のおどりの普及を中心に友好と協力の絆を深めてきたことは大

第50回日本文化週間 メイン公演の様子



リモート稽古の準備をする様子

変に光栄なことです。菊の会は長い実りある歴史を通じて、努力、献身、創造性、規律を示されてきました。日本舞踊は美しく、厳しい修行を要する芸術です。菊の会創立者である畑道代師のレガシーは五十年経った現在も世界各国で行われた公演や受賞された多くの賞にも受け継がれています。畑道代師のレガシーは、2016年に結んだ協力協定によりペルーでも受け継がれ、「菊の会APJ

日本のおどり」として生き続けています。ペルー菊の会のメンバーは舞踊集団菊の会の畑聡代表を始め、コロナ禍を過ぎリモートで定着したペルーのお稽古をしてくださる先生方の教えを守りながら、日々頑張っています。そして日本菊の会メンバーの皆様は厚く御礼申し上げます。近い将来、またペルーで皆さんをお迎えし、菊の会の素晴らしいおどりを御覧いただける機会を待ち望んでおります。創立五十周年を称え更なるご発展をお祈り申し上げます。

半世紀の時を越え 新しい歴史の出発

—舞踊集団菊の会 創立五十周年記念公演—
東京・京都・群馬での舞台より

山崎直子宇宙飛行士や小泉堯史映画監督など多彩なご来賓の中、盛大に開催されました。



『サライ』

- 第1部 箏とパーカッションによる「季の葩三番叟」「月の葉桜」
北王路魯山人・作 喜舞劇「食道楽」(東京・群馬) 村尚也・作「蛸とにわか坊主」(京都)
- 第2部 三隅治雄監修 民族舞踊詩。四季を巡る「喜久の里」全8景(東京・京都) 「躍れ日本の心」(群馬)



『蛸とにわか坊主』



『夏の気炎』



『春待つ郷』



『維新の人』



『季の葩三番叟』



『食道楽』



『追憶の灯』



『新春を呼ぶ舞踏』



『島人ぬ宝』



『重陽の空』



『躍り奔流』



在大韓民国日本国大使館
公報文化院長 中條一夫

創立五十周年、 「おどり」を世界へ、 そして次世代へ

舞踊集団菊の会の創立五十周年をお慶び申し上げます。また去る九月にソウルで開催された「日韓交流おまつり」に御出演頂き感謝申し上げます。前回の御出演頂いた二〇一九年の後、世界はコロナ禍に見舞われ、日韓間の人的交流も途絶えました。

「日韓交流おまつり」も二年間はオンラインで命脈をつなぎながら対面再会の日を待ち望みました。日韓に限らず二国間には交流もあれば懸案もあります。コロナ禍で交流のニュースを目にする機会がなくなり、その分、懸案のニュースばかり目

に入るようになったように思います。懸案から目をそらす必要はありませんが、コロナ禍が峠を越えて交流が再会した今、交流が再会したニュースを日韓両国に向けて発信することは克服の証でもあります。

今回の「日韓交流おまつり」のテーマは「また



『謙良節』

会える喜び」でした。三年振りの菊の会の韓国公演は、来場者にとっても、また菊の会の皆様にとっても、文字通り「また会える喜び」を体現する舞台となったことと思います。

日本では学校教育でダンスが必修化される中、韓国のアイドル達のダンスに憧れる若者が増えて

います。日本のおどりには昨今の韓国のダンスとは異なる独自の魅力があるという点を改めて対面で発信できたことを嬉しく思います。

片仮名で「ダンス」と言うと西洋のダンスを想起させますが、フラと言えばハワイ、サンバと言えばブラジルを想起するように、「おどり」と言えば日本のダンスである、世界に、そして次世代の日本人に伝えたいです。「おどり」を世界に、そして次世代に伝え続けて五十周年を迎えた菊の会の皆様の益々のご活躍をお祈りし応援しています。